



総合診療専攻医を目指しているみなさまへ

初めまして。「るもい総合診療医養成プログラム」のプログラム責任者・院長の高橋文彦です。

留萌市立病院は北海道の北西部、日本海に面した留萌（るもい）市にある地域センター病院です。留萌二次医療圏は南北に約 150km と広大で、当院はその南部に位置します（旭川市から 80km、札幌市から 130km）。医療資源に乏しいこの地域において当院は住民の拠り所となっています。

医療が高度化・細分化される中で、住民の多様な健康問題に、適切な臨床推論に基づく診断と治療を提供する総合診療医の必要性がますます高まっています。そして、総合診療医の活躍の場が、都市部ではない地方・地域にあることは間違いありません。

当院の総合診療専門研修の特徴は、

- ① 同一医療圏内で、患者さんおよびその家族を急性期から慢性期まで継続的に診療します。主治医として一人の患者さんを急性期（入院）－回復期（リハビリ）－慢性期（外来）と担当することにより、継続性が鍵となる総合診療医・家庭医としての基礎を学べます。総合診療Ⅰでは同じ医療圏内の北海道立羽幌病院で在宅医療を含めた研修をしていただきます。
- ② 内科研修では循環器内科および消化器内科を専門医の元で研修します。循環器内科では、循環器救急だけでなく、腎臓・血液透析、糖尿病・内分泌代謝、呼吸器など、幅広く経験を積むことができ、文字通りの総合力がつきます。
- ③ 目の前の一例一例を大切に、貴重な臨床経験を学会発表や論文作成につなげます。学術活動を通じて科学的思考と臨床的洞察力を養います。
- ④ 健診、予防医療、市民への啓発活動などに積極的に参加していただき、「地域をまるごと診る」視点を養います。

2023年に専攻医1名が「るもい総合診療医養成プログラム」を修了しました。3年間での成長を目の当たりにして、プログラム責任者兼指導医として非常に嬉しく思っております。留萌市は美味しい海の幸・山の幸に恵まれたハートの街でもあります。北の大地で総合診療医・家庭医として確かな実力をつけたいあなたの応募を待っています。

院長 高橋 文彦（循環器内科）

昭和40年生まれ 自治医大卒

平成22年 副院長に就任

令和5年より現職

人材育成と住民の命を守るため日々奮闘中

